

## 日本語学習者に見られる自他動詞・受身の選択について

杉村 泰

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

sugimurayasushi@gmail.com

### 1. アンケート調査

#### 被験者と実施日

日本語母語話者：名古屋大学学部生計 114 人（2012 年 5 月 8、9、10 日）

日本語学習者

・中国語母語話者：湖南大学日語系 3 年生計 58 人（2012 年 5 月 24 日）

・ウズベク語母語話者：タシケント国立法科大学日本語学科 3、4 年生と教員計 6 人

（2012 年 7 月 7～12 日）

・韓国語母語話者：韓国国際大学観光日語学科 2～4 年生計 7 人（2012 年 9 月 3～6 日）

#### アンケート形式と問題作成基準

・アンケート形式（最も適当な格助詞と動詞の組み合わせを 1 つ選ばせる）

（例）風でドア（が/を）ボタンと（開いた/開けた/開けられた）。

・問題作成基準作成基準（全 60 問）

【1】対象の内発的变化（自発）（例：「老朽化して家の外壁が割れた」）

【2】無情物の非意図的な作用による対象の変化（5 問）（例：「風でドアが開いた」）

【3】【2】＋被害や迷惑の意味（例：「火事で家が焼けた」）

【4】人為的行為 1（対象の状態を描写）

4-1 動作主は不問（例：「この雑誌が一番売れている」）

4-2 動作主は背景化（例：「コーヒーに砂糖が入っている」）

4-3 動作主は少し前景化（例：「ビールが 5℃に冷えている/冷やされている」）

【5】人為的行為 2（対象の変化を描写）

5-1 対象の内発的变化あり（例：「お風呂が沸いたから入ってください」）

5-2 動作主の「境遇」を描写（例：「たくさん貯金（が/を）貯まった/貯めたよ」）

【6】人為的行為 3（動作主の意図性なし）（例：「転んで骨を折ってしまった」）

【7】人為的行為 4（被害や迷惑）（6 問）（例：「着替え中にドアが急に開けられた」）

【8】人為的行為 5（動作主の意図的行為）（例：「ドアをボタンと開けて部屋に入った」）

→ 本発表では【7】を中心に論じる。

## 2. 典型的な自動詞文の場合【1】

対象の内発的变化（自発）を描写する場面では、母語話者も学習者も自動詞を選択する割合が高くなる。（図1～図4）

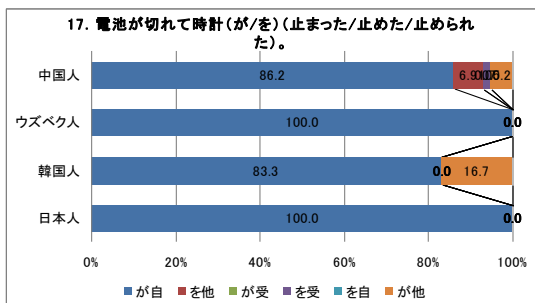


図1 「時計が止まる」

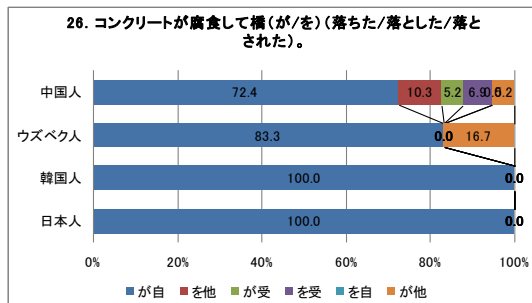


図2 「橋が落ちる」

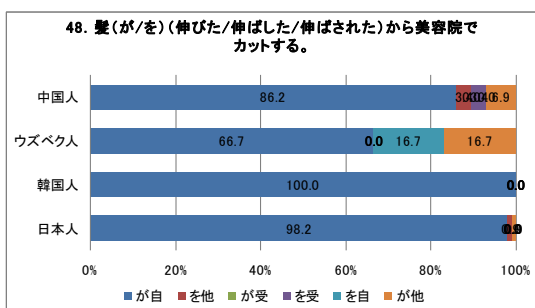


図3 「髪が伸びる」

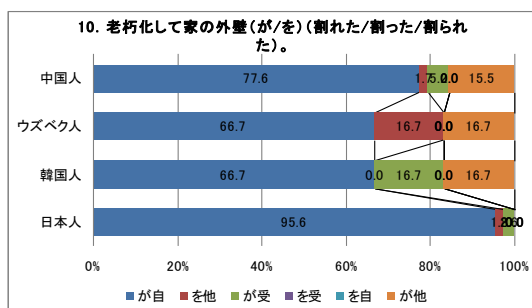


図4 「外壁が割れる」

一方、図5の「落葉」も対象の内発的变化（自発）を表すものである。しかし、日本人と韓国人は「葉が落ちる／葉を落とす」のように自他を半々に選ぶのに対し、中国人とウズベキスタン人は自動詞を選ぶ割合が多い。

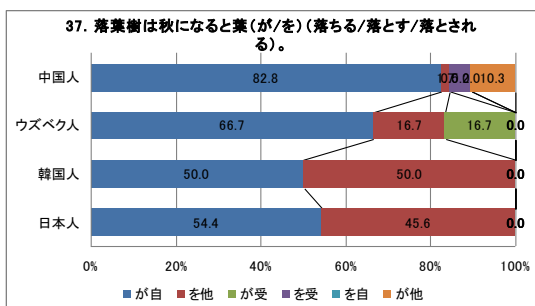


図5 「葉が落ちる／葉を落とす」

### 3. 典型的な他動詞文の場合【8】

動作主が意図的に対象への働きを表す場面では、母語話者も学習者も他動詞を選択する割合が高くなる。(図6～図11)

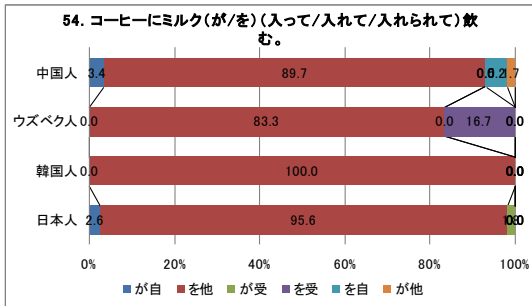


図6 「ミルクを入れる」

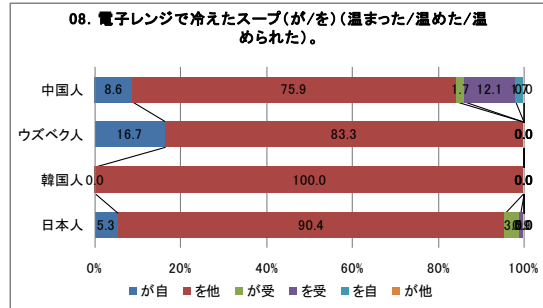


図7 「スープを温める」

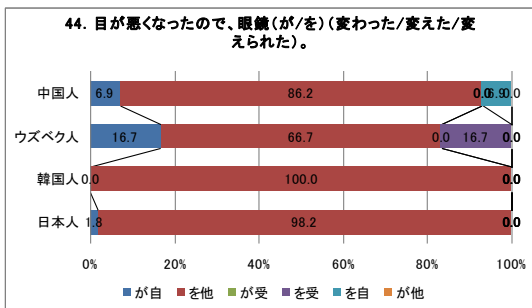


図8 「眼鏡を変える」

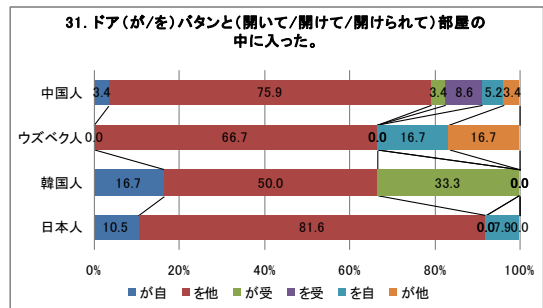


図9 「ドアを開ける」

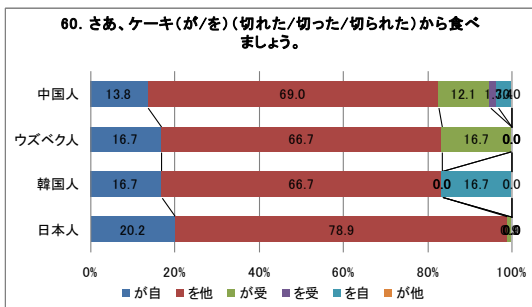


図10 「ケーキを切る」

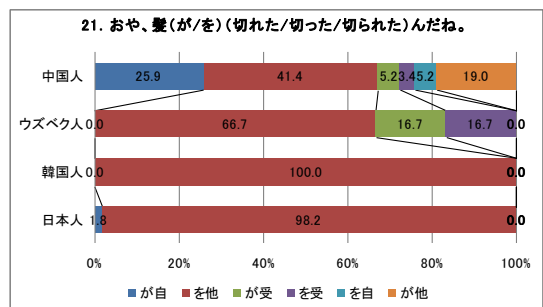


図11 「髪を切る」

### 4. 迷惑の意味を表す人為的行為の場合【7】

日本人の場合、相手の行為による被害のイメージが強い場合（相手が特定の、相手の意図的または注意不履行による被害の場合）には「受身」が選択され、対象の状態変化として捉えられる場合（相手が不特定で対象の状態に視点が行く場合、相手の落ち度が感じられにくい場合、被動作主に「被害を受けた」という共感を示しにくい場合）には「自動詞」が選択される。

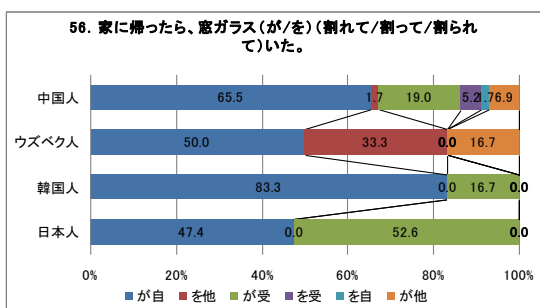


図 12 「窓ガラスが割れる／割られる」

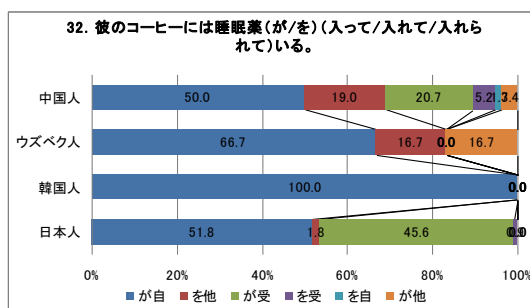


図 13 「睡眠薬が入る／入れられる」

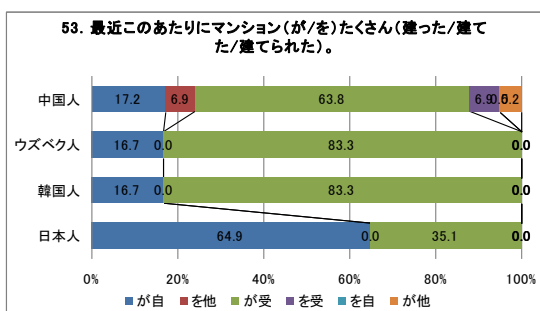


図 14 「マンションが建つ／建てられる」

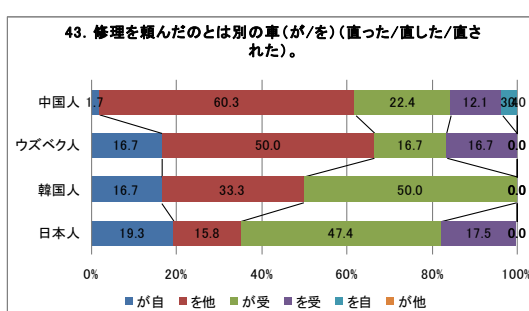


図 15 「車が直される」

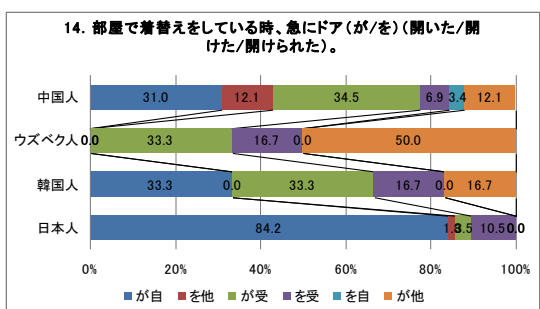


図 16 「ドアが開いた」

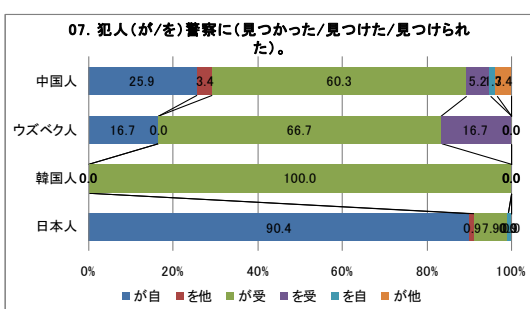


図 17 「警察に見つけた」

参考文献

小林典子 (1996) 「相対自動詞による結果・状態の表現—日本語学習者の習得状況—」『文藝言語研究・言語篇』29、筑波大学文芸・言語学系、pp. 41-56

曾ワンティン (2012) 『中国語母語話者における有対他動詞の受身表現と自動詞の使い分けについて』名古屋大学修士学位論文

中村祐理子 (2002) 「中級学習者の受身使用における誤用例の考察」『北海道大学留学生センター紀要』第6号、pp. 21-36

守屋三千代 (1994) 「日本語の自動詞・他動詞の選択条件—習得状況の分析を参考に—」『講座日本語教育』第29分冊、早稲田大学日本語教育センター、pp. 151-165